

情報 第11回根研究集会およびシンポジウムのお知らせ	23
カレンダー	26
投稿規定(一部改定)	28
会告	31

## 会員の皆様へ

### 1. 研究会について

こちらに事務局が移り、私が会長を務めさせていただいてから、早いものでもう1年が経過いたしました。この間、評議員や会員の方々からのお力添えのもと、大門副会長と矢野事務局長とともに本研究会を運営して参りました。絶大なるご支援に対しましてこの場をお借りしてお礼申し上げます。

私どもが引き継いで始めて出した、7巻1号のこの欄に、私は、この会誌をどのようにしていきたいかという抱負を述べています。その多くが実現されておらず反省することしきりですが、そこで呼びかけていた会の運営、発展方向に関する意見は、会員の方々からいくつか伺っています。

これに関連した従来からの懸案事項として、学術会議への登録があります。現在、来年7月の学術会議第18期の会員改選に向けた第1段階として、会員の推薦、選出を行う学術団体の登録申請が受け付け中で5月末が締め切りになっています。登録することは研究会にとってメリットにもなりますが、そうでない面も含み、論議が必要です。メーリングリスト等を通じ、情報を流したいと思いますので、このこと以外も含めて、研究会の運営等に関するご意見をぜひお寄せ下さい。

### 2. 会誌について

本号から第8巻に入ります。内容につきましてはお陰様でたいへん充実してきています。一方、体裁についてもさらに充実させてはどうかというご意見をお寄せいただいています。幸いなことに、昨年度から会費を値上げさせていただき、財政的にも若干の余裕があります。体裁も会誌の質にとってたいへん重要な要因ですので、色以外に紙質も変えてみました。また記事の書式・体裁のいっそうの統一性を図るため、投稿規定や原稿作成要領(28ページ)も若干改訂しました。いかがでしょうか？

### 3. 第11回根研究集会(詳細は23ページ)

先号でも予告しましたように、第11回研究集会と今年度の総会を1999年5月22日(土)に、つくば文化会館アルス中央図書館内アルスホールにて開催します。農業研究センターの大野智史さんにお世話をさせていただきます。この会場は第3回研究集会でもお世話になりました。

また翌日には、有志の方々による「つくば作物根セミナー」の100回目の開催と、「根の事典」の出版を記念してシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、まず「つくばセミナー」の方から、セミナーの経緯と、「根研究」の課題と展望について話題を提供していただきます。また、根研究会の方からは、立場や、世代の異なる3人の方に、根研究の歴史と未来について語っていただくことを予定しています。このシンポジウムが率直な意見交流の場になることを期待しています。

### 4. 根の事典

1000部を印刷した「根の事典」は残り少なくなり、出版社(朝倉書店)は増刷を決定されました。たいへんおめでたいことでもあります。編集委員会のご努力に敬意を表するとともに、会員の皆様の宣伝、普及活動にも感謝申し上げます。今後ともよろしく願います。

たとえばこの会誌のように、研究会内部に対して情報を発信していくことが、会の活動の中では最も大切であることはいまでもありません。一方、今後のこの全体分野の発展を考えると、研究者以外も含めた外部の人たちに向かって情報を発信し、おもしろさや重要性を理解して下さる「サポーター」を増やしておくことがこれからますます重要になってくるのではないのでしょうか。そういう意味でも、皆さんからの出版活動やシンポジウムなど、新しい企画の提案を歓迎したいと思います。

1999年3月 会長 山内 章